

第 34 回 経営協議会議事録

日 時 平成 22 年 3 月 18 日 (木) 10:00～11:30
場 所 本部棟大会議室
出席者 長澤学長，金山理事・副学長，吉田理事・副学長，棚橋理事，
山口副学長・事務局長，前田副学長，大社委員，鈴木広子委員，
鈴木行生委員，柚原委員，渡辺委員
欠席者 砂川委員
陪席者 西村監事，竹川監事，牧野副学長，宮本副学長

議事に先立ち，議長から，1 月 21 日開催の第 33 回経営協議会議事録については，案を事前に電子メールにて構成員に配付し内容の確認を行ったところ，特に修正箇所がないことから，原案どおり確定したい旨諮られ，承認した。

議 題

1) 職員の勤務時間，休暇等に関する規程等の一部改正について

議長から発議のあと，吉田理事から，平成22年4月1日付けで「労働基準法の一部を改正する法律」が，平成22年6月30日付けで「育児休業・介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律及び雇用保険法の一部を改正する法律」が施行されることに伴う介護休暇の新設・子の看護休暇の改正等に関する関係規程の改正等について説明があり，総務課長から資料1に基づき，規程の改正内容について，説明があった。

審議の結果，原案どおり承認した。

2) 平成 22 年度の年度計画及び実施計画について

議長から発議のあと，宮本副学長から，資料2に基づき，平成22年度の年度計画，及び学内において年度計画を実施していくために必要と思われる具体的な実施計画について説明があり，提出期限までに意見を反映させ修正を加え，最終的には学長に一任いただいたうえで年度計画の確認作業を行い，3月末までに文部科学省に提出したい旨発言があった。

構成員からは，次のような意見があった。

- ・ 教育研究・地域貢献・国際化の事項は，文面だけをみると，実行の形に移すとき，もう少し融合して実施できるものがあるにも関わらず，それぞれが個別的になっている印象を受けるのでその点を明記されるとよい。
- ・ 第2期中期計画の6年計画の1年目にも関わらず，定量的な数字がなくイメージがわからないので，可能なものに関しては，定量的な取り組みと数値があってもいいのではないかと。

議長からは、第2期中期目標計画は、第1期の計画は目標が多すぎ、漠然として焦点が見えにくい反省のもと項目を絞っている。より具体的に現実的な内容に修正・検討している旨発言があった。

審議の結果、原案どおり承認し、最終的な年度計画については、学長に一任されることとなった。

3) 平成22年度予算実施計画(予算配分)について

議長から発議のあと、事務局長から、資料3に基づき、平成22年度予算実施計画(予算配分)について説明があった。

審議の結果、一部の修正を含め原案どおり承認した

報告事項

1) 教員の選考について

吉田理事から、資料4に基づき、2月17日開催の第89回教育研究評議会において承認された4件、及び3月17日開催の第91回教育研究評議会において承認された採用1件の教員人事について報告があった。

2) 教員の再任について

吉田理事から、資料5に基づき、3月17日開催の第91回教育研究評議会において承認された1件の教員再任案件について報告があった。

3) 平成20事業年度決算における剰余金の翌事業年度への繰り越しに係る承認について

財務課長から、平成20事業年度における決算剰余金について、2月17日付けで文部科学大臣より申請額どおり目的積立金とすることが承認されたことについて報告があった。

承認額については、昨年10月15日開催の第32回経営協議会において、予め文部科学大臣の承認が得られることを前提に全額、コミュニケーションプラザの整備事業に充てることを承認いただいている旨、併せて報告があった。

議長から、第35回経営協議会は、平成22年4月15日(木)10時から、本部棟大会議室において開催する予定である旨の発言があった。

以上